



記者発表資料

常総国道事務所発注「R4東関東道古高築地地区跨道橋上部その2工事」において「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」を試行します。併せて「材料単価の公表」「施工箇所が点在する工事の積算」「難工事指定」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R4東関東道古高築地地区跨道橋上部その2工事」については、以下のとおり試行・採用します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としています。

②「材料単価の公表」

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

③「施工箇所が点在する工事の積算」

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

④「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

その他

○「専任を要しない期間」

本工事は主任（監理）技術者の配置を要しますが、専任が不要となる期間（工場製作に要する期間）を設定します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局常総国道事務所
〒300-0033茨城県土浦市川口1-1-26
電話029-826-2040（代表）
副所長[技] 木村 佳夫（きむら よしお）
工務課長 西川 繁（にしかわ しげる）

《工事概要》

- (1) 工事名：R4東関東古高築地地区跨道橋上部その2工事
いばらきけんいたこしふたか いばらきけんいたこしついで
(2) 工事場所：茨城県潮来市古高地先、茨城県潮来市築地地先
(3) 工期：契約締結の翌日から令和6年3月29日
(4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
(5) 工事種別：プレストレスト・コンクリート
(6) 工事内容：（概要）

【市道1-4号線跨道橋】

コンクリート橋上部	1式
PC橋工	1式
橋梁付属物工	1式
剥落防止工	1式
表面保護工	1式
舗装工	1式
コンクリート橋足場等設置工	1式
橋台工	1式
仮設工	1式

【市道559号線跨道橋】

コンクリート橋上部	1式
PCホロースラブ橋工	1式
橋梁付属物工	1式
剥落防止工	1式
橋台工	1式
仮設工	1式

- (7) 不調・不落対策等の試行・採用

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績及び賃上げの実施を加算点としてしています。

《材料単価の公表》

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」として材料単価を公表を行います。

《施工箇所が点在する工事の積算》

施工箇所が点在する工事について、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

《難工事指定》

橋梁架設箇所が点在しており工程調整が難しいことから「難工事指定」を実施します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

また、加点対象となる期間は、審査基準日の月以前の1年間に元請けとして、完成・引き渡しが完了した施工実績が加点対象となります。また、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

《スケジュール》

- 入札公示、入札説明書の交付：令和4年10月11日（火）
- 技術資料等の提出期限：令和4年10月26日（水）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限：令和4年11月22日（火）
- 開札日：令和4年11月28日（月）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定

発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+質上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上